

活動名： 第4回橋本秀樹杯U10

日程：令和2年10月31日（土）～11月1日（日）

会場：磐梯熱海フットボールセンター

参加：Eクラス 13名、L100クラス 4名 合計 17名

報告：佐藤

結果：8位/12チーム中

初日予選リーグ

VSブレイブフューチャー 6-0 ○

VS富田SSS 1-1 △

VS薫SSS 1-1 △

2日目決勝トーナメント

VSブレイブネクスト 1-1 PK3-4 ●

VS薫SSS 0-1 ●

VS富田東 0-0 PK0-2 ●

今回富田SSSさん主催の橋本秀樹杯にU12、U10の2チームが招待され、私はU10の担当でしたので、報告いたします。

今回の大会は福島県出身のサッカー選手であり、地元での指導者として活躍していた橋本秀樹さんを偲び行われる大会です。

今年になりU10の選手たちも日頃のトレーニングや特別練習会、試合を通して成長している姿を見せているので、今回の大会ではどのようなプレーを見せてくれるのか楽しみでした。

まず、選手たちと2日間過ごして感じたことは、みんなの試合に出たいという感情があふれているということでした。全部で17名の選手たちが参加しているということもあり、限られた出場時間になっていることと、毎週大会や試合をしているわけではないのでみんな今回の大会を楽しみにそして、真剣にプレーしようとしているということが感じ取れました。逆に、毎週試合が続き、大会に参加を続けていると、このような感情は薄れてきてしまうのかなと思います。フレッシュな気持ちで、精一杯試合をしていくことが成長につながっていくと思います。

さて、そのような気持ちあふれている選手たちなので、ボールを真剣に追いかけてい

く姿が見られました。いわゆる団子サッカーです。特に3年生主体で臨んだ試合は相手チームと一緒に大きな塊を作って一生懸命団子の真ん中を突き進むようにプレーしていました。

そんな選手たちに伝えたことは、周りを良くみてプレーすることです。ボールばかり見ていて、ドリブルも相手選手にボールをぶつけながらすすんでいる。相手選手がいっぱいいるところにボールを蹴っているよ。自分のポジション関係なくボールの近くに集まっているよと。周りが見えていてなお、突破するチャレンジすることは良いと思いますが、本能でプレーしているような感じでした。

そのなかでも4年生たちを中心に臨んだ試合では、自分の役割や周りを見えている選手も多く自分の意図をもってプレー出来てきていると感じました。そのような中で3年生の選手たちも試合を経るごとに周りを見る意識がでてきていましたし、そのなかから意図したプレーが出るようになったと思います。これからが楽しみです。

また、今回の大会を通して、見えたのは「得点をとる」というところの課題です。これは選手たちのせいではなく、そのようなトレーニングをもてていなかったことに対する課題が見えたということです。何度となくゴールキーパーと1対1の場面をつくることができても、自分の力ではゴールまで届かない距離からシュートを打ってしまったたり、最後のフィニッシュがゴールの枠にはいらなかったり（ポストに嫌われてしまうシュートも多くあり惜しい場面でした）、ドリブルで間合いをつめすぎてゴールキーパーに当たってしまったたり、ゴール前からどンドン横に進んでいきシュートを打つ時にはシュートコースがなくなってしまった場面がありました。これはこのような場面の経験を重ねること、シュートのスキルを身につけることをテーマとしたトレーニングをすることで、得点ができるようになると思います。これからそのようなトレーニングを増やしていきたいと思います。

全体を通して、この大会で感じた、喜びやくやしさを通して、自分自身の技術を身につけ、磨いていかななくてはならないと感じてくれたと思います。伸ばしていきたいところも数多くあり、上級生になっていくときにさらに成長が期待できる選手ばかりです。これからの練習に取り組む姿勢に期待しております。

この大会を運営された富田SSSの皆さんや参加された関係者の皆様、2日間大変お世話になりました。貴重な経験をさせていただきました。今後どうぞよろしくお願いいたします。

ご父兄の皆様、朝早くから日が暮れるまでの長時間、選手たちを温かく見守っていただきありがとうございました。コロナ禍で大きな声援を送れるようになるにはまだまだ

う少しかかるとは思います、皆様の応援が選手たちの大きな力となっておりますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。



コーチ 佐藤



